授業科目	基礎実習					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	通年
担当教員	荒木　剛、山本　佳代子						
授業概要	福祉サービスの実践現場において、実務者（職員）の指導のもと、体験実習を 100 時間以上行う。また、学内においては、実務家教員の指導のもと、実習前の準備学習、実習中のスーパービジョン、実習後の振り返りと報告会を行う。 実習先の例）介護老人福祉施設、認知症グループホーム、児童館、学童保育、障害者支援施設、保育所など。						
授業形態	実習				授業方法		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．実習生としての心構え・マナーについて理解し、実践できる。（DP4-1） 2．実習に向けた諸手続きについて理解し、実行できる。（DP4-1） 3．　利用者との関係形成の方法について理解し、実践できる。（DP3-1、DP４-３、DP５-１） 4．実習施設での具体的な支援について理解し、実践できる。（DP3-1、DP４-３、DP５-１）
理想的レベル	利用者個々のニーズを理解し、具体的な支援内容・方法を検討・実践できる。また、実習体験を踏まえて今後の学習や実習に向けた課題を整理できる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	
レポート外の提出物	10%	
その他	60%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE11102J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
授業内容に関する事前の調べ学習、事後の振り返り、まとめなどを行う。	1

授業計画	
第 1 回	【オリエンテーション】 科目の概要、授業スケジュール、履修上の注意点について学ぶ。（担当：全教員）
第 2 回	【対人援助の仕事】 ビデオを視聴し、対人援助の仕事のイメージを具体化する。（担当：全教員）

第 3 回	【対人援助の仕事】 前回の感想を共有し、対人援助の仕事の意義について学ぶ。（担当：全教員）
第 4 回	【実習までの手続き】 実習開始に向けた具体的手続きや提出書類等について学ぶ。（担当：全教員）
第 5 回	【実習中のリスクマネジメント】 実習中に起こりえる事故やトラブル等への対応方法について学ぶ。（担当：全教員）
第 6 回	【実習前の最終オリエンテーション】 実習先との日程調整の仕方、実習上の注意点等について学ぶ。（担当：全教員）
第 7 回	【実習の中間振り返り】 これまでの各自の実習体験を振り返り、学びや課題の整理を行う。（担当：全教員）
第 8 回	【後期オリエンテーション】 後期の授業スケジュール、実習振り返りシートの作成について説明する。（担当：全教員） ※後期の授業内容・スケジュール等は実習の進捗状況で変更となる場合があります。
第 9 回	【実習の振り返り】 各自の実習体験の振り返りと共有を行う。（担当：全教員）
第 10 回	【実習報告会の準備】 実習報告会について説明を行う。（担当：全教員）
第 11 回	【実習報告会】 各グループの実習体験について報告を行う。（担当：全教員）
第 12 回	※上記以外にも個別またはグループでの指導を行います。
第 13 回	学外実習
第 14 回	学外実習
第 15 回	学外実習
第 16 回	学外実習
第 17 回	学外実習
第 18 回	学外実習
第 19 回	学外実習
第 20 回	学外実習
第 21 回	学外実習
第 22 回	学外実習

第23回	学外実習
第24回	学外実習
第25回	学外実習
第26回	学外実習
第27回	学外実習
第28回	学外実習
第29回	学外実習
第30回	学外実習
テキスト	資料・プリントを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書『最新・社会福祉士養成講座　ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習』中央法規
課題に対するフィードバックの方法	実習レポートや実習日誌等の提出物は、成績発表後にコメントを付けて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	基本的なコミュニケーション力や他者との関係形成力が不可欠です。また、実習生としての心構えやマナーを十分に理解し、実践することが求められます。